

## 雨の中 力を合わせて水路清掃



雨で水路の水かさが深い



それぞれの持ち場を終えると、次の場所に移動しながら

悪天候について作業  
4月29日

毎年、5月の連休は落水路の泥上げ作業と全体の配水路の清掃とが行われています。今年も4月29日と5月6日に予定されていました。

落水路の泥上げは予定通り行なわれました。その日は折からの雨模様、雨具を着用しての作業となりました。大きな水路2本については、法人の役員

が作業を終えられており、残りの水路が対象となりましたが、それでも1000メートル以上の距離となりました。

水流の中の泥を堀上げるので、楽ではありません。畔に繁茂する雑草を取り除きながら進んでいきます。作業は2時間余りかかりました。

年間の共同作業の中でも最もきつい仕事がこの落水路の泥上げだと思われ、ます。強い日差しの中での作業では、

途中で何度も休みを入れないと、続けられないこともありました。

5月6日の配水路清掃は、夜半からの激しい雨で水路の流れも速く、水嵩も上がってきたので、急遽作業を中止することになりました。

この中止の連絡を巡って、様々な意見が出ました。なぜもっと早く連絡できなにかということもありました。自治会と協力して連絡方法を研究したいと思います。

## 早生品種の田植えがスタート

5月18日、地域の圃場に早生品種の田植えが始まりました。

地域の下流域6ヘクタールに大型の田植え機がどんだん稲を植えていきます。その場所の上流側にはまだ麦が刈り取りを待っています。

早生品種の田植えが終わると、麦の刈り取りがあり、6月中旬から残りの部分の田植えが始まります。



G P S機能搭載の大型田植え機が見る見るうちに植え付けていく

# 横断歩道を渡っていく元気な声

5月10日の朝、小学生の登校の様子を見せてもらいました。今年はこのもたちがたくさんいます。20名以上が、



ゆっくりと渡ったのでは少々時間が足りない（5月10日）

元気に歩いていきました。

自治会と子ども会では、登校の安全を確保するため、交通当番を決めています。しかしそれとは別に、自発的な「見守り」を続けられているのが民生委員の黒瀬克子さんと、本当に自主的な活動を続けられている原田照子さん

令和元年の開催を最後に休止していた小郡地域大運動会。5年ぶりに開催されました。今回からは「ふれあい運動会」として少しこじんまりした開催となりました。

## 運動会で異世代交流

5月19日 小郡中学校グラウンド



▲最後まで会場に残ったメンバーで記念撮影  
▲大人と一緒に力走アンジュちゃん ▲昌通君から州也君にバトン  
▲唯一入賞したぐるぐるの台風の日

出場自治会は11、全体の6分の1という状況です。感染症対策のために休止した行事は、各地区にコミュニケーションの不足を招いてしまいました。長年参加していたお馴染みの自治会の名前の多くがありませんでした。

5年間のブランクは、多くの影響があるようです。

です。  
みんなの顔を見ながら、毎朝声をかけ、いっしょに八方原橋の交通信号機まで歩いて行かれます。どの子が来ている、遅れている全ての事情が照子さんの頭の中には入れられています。  
「本当に危ないのは、あの橋の上です。すけどね」本当にやさしい、心遣いです。その気持ち、八方原の子どもたちを守り続けているのです。

## エレクトーンの寄付

総会で紹介された(株)三共様からのエレクトーンの寄付が届きました。

